

2024年8月17日作成

地区ラーニング委員会

20クラブの委員長発言をランダムにまとめたものです。

クラブラーニング委員会の今後の方針を定めるための参考資料としてご活用ください。

会議当日は4テーブルに分かれ基本テーマとテーブルごとのファシリテーターによるサブテーマが出され、発言が活発になされました。

基本テーマ1 クラブ研修委員会が今までにやって来た事

2 クラブラーニング委員会が今後やって行こうとする事

サブテーマ (テーブルごとにファシリテーターが自由に出したテーマ)

1 ファシリテーターとコーディネーターの違いは何か

2 ロータリー行動計画をどのように考えて行くか

3 ロータリー観・ロータリー論は人によって違うが理解し合えるには

4 新会員がロータリーを良く理解する前に退会するのを防ぐには

5 その他 クラブ活性化の話題など

以下の箇条書(きまとめ)はテーマ別、テーブル別によって仕訳けたものではありません。発言はテーマに沿わないものもあり、多岐に渡っていますので全体の意見のうちクラブラーニング委員が必要と思われる意見のみを抜粋してあります。必要な項目を自クラブに応用するのに大いに参考になるのではないかと思います。

是非地区内のクラブで水平展開をお願いします。

事例

1 夜間研修を2か月に1回実施 まずロータリー用語から

2 クラブ戦略計画を1年2回程度

3 新会員にロータリーの行動計画を説明 地区委員からのレクチャーの機会を設ける

4 チャーターメンバーからクラブの歴史を話してもらう機会を設ける

5 わかば会(入会4年未満)で1年4回 各回1時間のアト親睦会 事前に資料配布

6 用語集(東京中央RCの用語集を基本としてクラブで編集)を全会員に配布

7 RI ポリオ撲滅運動の原動力となった東京麹町RCの山田・峰会員のポリオ根絶奉仕活動について紹介
資料は東京麹町ロータリークラブホームページ検索

8 ロータリーガイドブック(2022-23年度2590地区研修委員会作成)をクラブ会員全員に配布

9 ロータリークラブに入ろう(田中久夫著・アマゾン)あるいはロータリー入門(ロータリー文庫で入手可能)

10 定期的な研修会開催 新会員にロータリーの歴史と変革を伝える

11 情報委員会や炉辺会合をもつ

12 飲み会に新会員をさそいロータリー情報や地区情報を話す

13 スポンサーが新会員の指導をする

14 5年未満の会員を対象に「原典の会」を1年に2回開催

15 2か月に1回研修委員長の卓話

16 新会員にはメンター制採用

- 17 「4つのテスト」などテーマを決め新会員の会を開催
- 18 クラブや会員の魅力を高めて行く
- 19 新会員が疎外感を持たないようにする 新会員にクラブ運営や奉仕活動の責任を担ってもらう
- 20 例会の前に新会員に出席の声掛けをする
- 21 ロータリーの行動計画をもっと前面に押し出して強調する事でロータリアンのレベルが上がる
- 22 例会出席や奉仕活動の充実を行動計画の中に生かす
- 23 行動計画をどうクラブに生かすかという点ではまだ実施できていない
- 24 子供たちと父兄が300人集まると一気にクラブの知名度が上がる
- 25 炉辺会合で先輩が定款を持ってきて皆に読ませた
- 26 my rotary のラーニングのページで学ぶ
- 27 クラブラーニング担当者が「ロータリーの友」の記事を紹介
- 28 情報リーダーが地区の話をする
- 29 会長挨拶の後クラブラーニング委員長が「ロータリーの友」の記事を読む
- 30 (大きいクラブ) 例会だけではコミュニケーションが不十分なので炉辺会合を数グループに分けて開催
世話人は一番若い会員 進行は一番年長会員
- 31 会員一人一人を強化する研修を行っている
- 32 10年先を考えて中堅会員への研修に力を入れている
- 33 炉辺会合などを開催し新しい仲間(ゲスト)を呼んでロータリーの楽しさを伝え入会の勧誘をする
- 34 子どもの奉仕 地域の奉仕 海外の奉仕 の3本建てで活動をして楽しさを広めて行く
- 35 クラブの計画を作っているところだがとにかく皆で楽しい事をやろうとしている
- 36 クラブセントラルへ入力 3年計画の内まず1年目を入れないと始まらない
- 37 例会のテーブル席替えを1年に4回実施
- 38 ラーニング委員会は一緒に同列で教え合うもの
- 39 ファシリテーターは会議を円滑に進め自分からは意見や結論を言わない
- 40 コーディネーターは経験や知識に基づき臨機に話す
とりあえずは39と40は臨機応変に
- 41 研修は会長経験者が卓話の時間に1年2回実施
- 42 新会員にはロータリーのイロハを研修しましょうと伝える
- 43 自発的に学んでもらう雰囲気づくりが必要
- 44 ロータリーの歴史観の共有が必要
- 45 参加者の意思疎通を語りながら一緒に学んで行くスタイルが望ましい

以上

参考までに当日のA~D4グループの詳細な議事録を添付しておきます。
時間があれば全文をお読みください。